

AIMS世界総会大阪

学生ボランティアとして参加

大阪成蹊大学

大阪成蹊大学(大阪市)は、国際観光学部が2月23日から25日にかけてホテルニューオータニ大阪(同)で行われた「第23回AIMS世界総会大阪2023」にボランティアとして参加した。

AIMS (Association of International Marathon and Distance Races、国際マラソン・デスタンスレース協会)とは、120以上の国と地域にわたって470を超える世界的な長距離レースの各大会主催者で構成される会員組織を指す。その歴史は昭和57年に28人の会員から始まり、マラソンや長距離ロードレースを世界中に広めると共に、情

報や知識の交換・共有を目的に発展してきた。

総会は約2年に一度、選出された加盟大会に会場や開催時期を合わせて実施。三日間程度の会期中では、プレゼンテーションや各表彰などが行われている。

令和2年における「第23回AIMS総会ジョージア・パトゥミ」が新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により中止となったため、その翌年の理事会で第23回総会を令和5年2月の大阪マラソンに合わせて開催することを決定した。今回の日本開催は、昭和58年に東京で行われた第1回総会以来の2回目となった。



スムーズで正確な案内をするために学生が協力した



参加者と英語で交流を深めたウェルカムパーティー

5年ぶりの総会開催となった今回は、AIMS加盟大会の主催者や関係者などをはじめとする多くの参加者が集まった。大阪成蹊大の学生は、参加者の受付や案内などの業務を担当。また、2月23日にはウェルカムパーティーも行われ、参加者が和やかに歓談する中、学生もボランティアとして参加し、英語で交流を深めることができたという。

参加した学生からは「ボランティアとして朝早くから夜まで携わり大変ではありましたが、異文化交流のもとに貢献したいという同じ志を持つ仲間と協力したことで、多くの学びを得ることができました」「長期留学をしていたアイルランドから来日した方とお会いして話が弾み、留学経験が改めて役に立ったと嬉しく思いました」といった感想が寄せられた。

大阪成蹊大の国際観光学部には、1年次に短期海外研修、3年次に長期留学プログラムがあり、英語力向上を強化している。豊かな国際感覚とおもてなしの気持ちを備えた、これからの観光産業を支える人材育成に今後も注力していく。